

2017年5月

笹川科学研究助成と文部科学大臣表彰

筑波大学 数理物質系 都甲薫

私は現在、「フレキシブル」を一つのキーワードとして、電子デバイスの研究を行っています。その先駆けとなったのが、今から3年前に笹川科学研究助成にご支援いただいた「プラスチック上に形成した金属触媒誘起成長ゲルマニウム薄膜の基礎特性評価」の研究です。当時は「おもしろい結晶成長ができた。さて何に使えるか？」という段階であり、研究提案の難しい状況だったのですが、笹川科学研究助成の募集要項にある「助成されにくい基礎研究も対象」という文言に勇気づけられ、申請に至りました。本助成によって、フレキシブルな太陽電池やトランジスタ、熱電変換素子などに繋がるシーズ技術のポテンシャルが明らかとなり、現在では応用を志向した研究を進めています。これらの成果により、文部科学大臣表彰若手科学者賞をいただきました。本受賞は、紛れもなく研究の萌芽期における貴財団のご支援によるものであり、関係の皆様へ深く感謝申し上げます。